

碩心

社団法人 日本詩吟学院岳風会 認可
 神奈川 碩心会 発行

現在会員数
 170名
 4地区
 291名
 月地区
 56名
 現地区計
 (517名)

61年4月号(165号)
 発行
 者
 岳 萃
 編 集 者
 中 村 愛 岳

日本詩吟学院岳風会

創立五十年を賀し懽びて賦す

新田大作

春光燦爛として皇城に満つ

四海萬民大平を謳ふ

往昔誰か思はん斯道の突いなるを

既今齋しく頌す大賢の明

祖宗業を創む艱難の裏

後学教を弘む辛苦の盟

吟詠誠心五十歳
 岳風颯颯として昊天に鳴る

創立五十年記念89回全国吟道大会が、三月二十一日(祭)中野サンプラザホールに於て、全国からの代表二千八百余名参加のもとに盛大に行われました。

国歌斉唱に始まり、第一部朗詠に入り、次のスライド上映「宗範を偲ぶ」には深い感銘をうけました。つゞいての会旗入場は、北は北海道から南は九州まで、全国からの会旗が吹奏楽にのって堂々と入場する様はまさに圧巻、会場から湧きあがるわれるような拍手の中を壇上に上りました。

広い舞台を埋めた会旗をバックに大会式典が盛大、激粛に行われました。主催者として、全国十二万余の頂点にある理事長松

井岳洋先生の挨拶があり、私達碩心会員は

名誉会長として身近な存在である先生の、

温容あふるゝなかに凛然としたお姿に、誇

りと喜びを感じ、感激に涙が出ました。新

田大作、笹川鎮江、雨宮国風、横山岳精、

菅原雪山、篠崎興国先生他多数来賓の列席

を得て、笹川鎮江先生の祝歌の朗詠、又横

山岳精先生の「全国一の大きな組織を立派

に統括していられる姿に心から感服する」と

との讃辞が心に残りました。つゞいて功勞

者表彰があり、わが神奈川県本部からは、

常盤、新田、根岸、諸留、草野、岡嶋、安

孫子先生が表彰されました。

朗詠の部では、わが神奈川県本部から女

子141名と男子148名参加の大合唱二題は参加

数からいっても大いに誇ることができよう。

又合唱コンクールには東芝吟詠部が見事全

国二位に入賞、神奈川県本部の名を高めて

くれました。

このあと、来賓吟詠、役員吟詠、コンク

ール表彰式等で大いに盛上り大会の幕がお

ろされました。

感激屋の私は今大会に参加して、何回と

なく涙が出ました。そしてあらためて吟道

をつづけていてよかった、これを機に益々

精進しようと思えました。

愛岳記

碩心会支部別会員数一覧表 61.4.1現在

地区	支部名	会員数	指導者名
逗子地区 170名	逗子 A	68	根岸・一柳・金指・松井(正)
	逗子 B	13	三井・立沢
	桜山 A	14	三井
	桜山 B	7	広瀬
	沼山	18	三井・松野・清水
	根詠	5	三井
	銀澄	16	千葉(剛)・千葉(倫)
	真月	16	村田
	葉	13	広瀬
	葉山地区 291名	堀内 A	17
" B		7	加藤(佳)
95 " C		4	小峯
" " D		36	中村(幹)・中村(優)・小形・千葉(美)
" " E		7	白井(寿)・白井(鏡)
" " F		19	矢嶋
" " G		5	佐藤
一色 A		33	鈴木(幹)・守谷
一色 B		14	加藤(佳)
一星 A		14	黒崎
上原 B		23	伊藤
唐木 A		11	寺脇
山下 B		15	行谷
下口 A		15	沼田(純)・沼田(麟)
長柄 A		11	沼田(純)・渡辺
諏訪 A		10	竹石
上坂 A		18	井沢
滝山 A	7	秋元	
坂早 A	13	上村・佐久間	
大船地区 56名	大船 A	9	根岸・岩崎
	大船 B	24	三井・森田・田上
	戸塚 A	7	鈴木(幹)
	松和 B	16	下條・木村
合計	27支部	517	45名

272268264246

坂本美風
菊池祐風
269 森
晴風
270 星野輝風
高橋城風
253 古田島越風
遠藤春風
265 松川
好風
266 水上昌風
257 関野啓風

左記の方々が右合格されました。おめでとございます。

奥伝合格 (四月一日付)

正師範認許 (三月三十日付)
小峯桜岳先生が右認許されました。おめでとございます。

◎審査講評の中から

- ◇指導者はかどみ (指導者としての責任の重大さ)
- ◇審査のあり方は物指の目盛 (下段は大きな目盛で、上段は細かい目盛をあてがって審査する)
- ◇普段の練習は本番のつもりで、本番の時は普段のつもりで (審査を受ける時の気がまえ)
- ◇音程の見積り (最高音のある時は、いつよりもより一本位低く出す方が無難)

常任理事会ひらかる

とき・61年3月29日(土)6時30分より
ところ・逗子会館

(議題)

- ◇任期満了に伴う役員改選について
- ◇50周年吟道大会の開催について
- ◇60年度決算(仮)報告について
- ◇61年度予算(案)について
- ◇61年度理事会の日程及び提出資料について
- ◇その他

常任理事会ひらかる

とき・61年4月9日(木)6時30分より
ところ・逗子商店街奉仕事務所

(議題)

- ◇碩心会創立50周年記念吟道大会計画に係る準備委員会の設置について
- 1. 大会日程と会場の選定について
- 日程・昭和62年6月の予定
- 会場・鎌倉市中央公民館分館又は鎌倉勤労福祉会館を予定
- 2. 大会準備委員会について
- 3. 委員(選出方法)

- 4・各係りの業務分掌について
- 5・今後の準備委員会の日程について
- 6・招待者(案)

行事予定

◇ 碩心会理事會

とき・4月26日(土)7時より(時間厳守)
ところ・桜山會館

◇ 神奈川県本部總會

とき・5月11日(日)10時30分より
ところ・平塚農業會館

新緑を求めて

鎌倉散策のおさそい

さんさんとふりそぐ太陽の季節を迎える若葉の頃、鎌倉ならではの季節感を味わってみませんか。
(中村・秋元)

とき・5月18日(日)
集合・鎌倉駅裏口・10時30分
コース・極楽寺方面

江の電乗車Ⅱ稲村ヶ崎下車Ⅱ十一人塚Ⅱ稲村ヶ崎古戦場(昼食予定)Ⅱ極楽寺Ⅱ上杉憲方塔Ⅱ成就院Ⅱ星月の井Ⅱ虚空蔵堂Ⅱ御霊神社Ⅱ長谷駅Ⅱ江の電乗車Ⅱ鎌倉駅

練吟メモ

○日本漢詩で「花」と言えば桜であろう。時には梅のことがあるが、詩題や前後の語句の関連からすぐそれと分る。教本のうちで例外は「山吹」ぐらいのもの。では、本場中国の漢詩ではどうか。中国に桜はなかったで、桃と梅ということになる。教本の一・二巻から例を拾ってみると

霜葉は二月の花より紅なり(山行)

花落つること知んぬ多少ぞ(春暁)

花は高樓に近うして客心を……(登樓)

時に感じては花にも涙をそそぎ(春望)

右四例の花は、いったい桃であろうか、

それとも梅であろうか、当然疑問が生ずる。中国の桜は、近代になって日本から移植したものであるから当時は存在しない。してみると、詩によつては牡丹を連想しながら吟じている人があるかも知れない。

○さて右の詩の中で、教本の通釈ではつきり花を指名しているのがある。山行(二・79)で「霜のために色づいた楓の葉は、夕陽を受けて一段と赤く映え、二月に咲く桃の花よりも美しい」となっている。お気付きのとおり、教本でも市販の漢詩の本でも、花の名を挙げている解説はめったに見当ら

ないので、この教本の説明は、本当にまを存在であると言えよう。

○このついでにもう一例ご紹介したい。春暁(二・88)の「花落つること知んぬ多少ぞ」の花は、教本の通釈はただ「花」としか説明してないが、いったい何の花か。日本の季節や詩の内容から推測すると、桃の花がイメージに合うような気がする。そこで一般の解説書を何冊か当たってみて、ようやく見つけたのが、なんと「梅の花」(田所義行著・新評唐詩選)であった。

○日本漢詩の「山吹」の花と同じく、中国の漢詩にも「花雪の如し」(楊柳枝詞一・105)のように柳の花のこともある。でもこの場合は、前句に「数株の楊柳」があるのですぐ分る。要するに漢詩においても他の詩歌と同じく、通常は、桃花とか梅花とか菊花とか、対象をはっきり掲げなくては詩にならないわけである。

○紙数がないので結論に入ると、「花」だけの場合は、その花が何の花かなどせんさくしない方がよいということである。一般の解説書(教本を含め)がそうであるように、学校関係の取り扱いも同様であり、現在の大学入試答案も「花」だけの解答でないようである。中国漢詩の大きさのようなものがこんなところにも感じられる。

桜花らんまん・春宵一刻価千金

会員のお声が、堀内D組では四月十日(昨夜)のお稽古を、急換「お花見吟詠」という事になり、参加者二十数人が近くの堀内遊園地に集合、夜桜のもと、「富士山」他を合吟、まさに春宵一刻価千金…。

終って中村教場に戻り、さゝやかな飲物とおつまみで懇親の場をもちました。今回はお花見を兼ねて、審査合格祝、横警入籍新入会者の紹介、幸岳の快気祝等を含めた意味で行いました。一吟、つづのあと、カラオケあり、ダンスありで大いに雰囲気盛り上りましたが、楽しい余韻をあとに残し又のお楽しみとして、沼田真風さんの手打ちで、益々の精進とD組の発展を約しました。

◎選抜者予選大会に入賞

右大会に真澄支部の土屋純山さんが入賞来る7月6日の全国選抜者大会に出陣します。

自然と人生 (四月)

(花月の夜)

戸を明くれば、十六日の月桜の梢に在り、空色淡くして碧霞み、白雲団月に近きは銀の如く光り、遠きは綿の如く和かなり。

ぎんなん

中国では、大まかにいって北方の川を河とよび、南方の川は江といった。河の代表は黄河であり、江の代表は揚子江(長江・大江とも)である。とくに揚子江は規模が長大であるので、地域により別名が数多くある。例えば楚江や錦江のように江の字がつくので分る。ただし、江楓や江上のように、江が上についているときは川であることがあるので要注意。日本では一律に川である。そして、川原(かわら)は河原でもよく、江は入り江で海や湖が陸地に入りこんだ所をいう。

(支部長交替)

真澄支部長 森晴風を星野輝風に

(住所変更)

76 高梨誓風 葉山町堀内一四二一〇に

(電)〇四六八一七六一一五二二

(移籍)

180 行谷佳風 一色Bより逗子Aへ

370 田中和山 平松より一色Aへ

(入会)

137 江原 一 逗子市新宿二一五二二

(逗子A) (電)〇四六八一七三一〇八七四

738 大野千恵子 逗子市桜山八一六一三八

(逗子A) (電)〇四六八一七一〇七二〇五

739 栗原恒夫 横浜市戸塚区東俣野一二七七

(逗子B) (電)〇四五二八五一〇五二二

740 前野君江(再) 横須賀市大津町二二三九

(銀詠) (電)〇四六八一三六一二八七三

741 本橋春子 葉山町一色七一四三

(平松) (電)〇四六八一七五二八三九一

742 吉原 晃 横浜市戸塚区下倉田町一六〇一

(逗子B) (電)〇四五二八六一四四四五

743 角田幸子 葉山町一色二一七八

(下山口) (電)〇四六八一七五二三三三三

744 中村亜希子 横須賀市ハイランド三三四一三

(逗子A) (電)〇四六八一四八一八四九四

745 福永久子 葉山町上山口二一〇八一二

(一色A) 葉山ビルA 127 黒川方

(退会)

188 阿部葵風(真澄)

275 新谷節山(堀内G)

311 赤羽高山(桜山B)

317 石井桂山(桜山B)

389 向笠琴泉(大船B)

561 村田昌泉(一色B)

204 鈴木公山(逗子A)

283 石塚紫山(堀内G)

314 村田章山(一色B)

322 原口修山(一色B)

440 小沢延泉(唐木山)

575 村田芳泉(一色B)